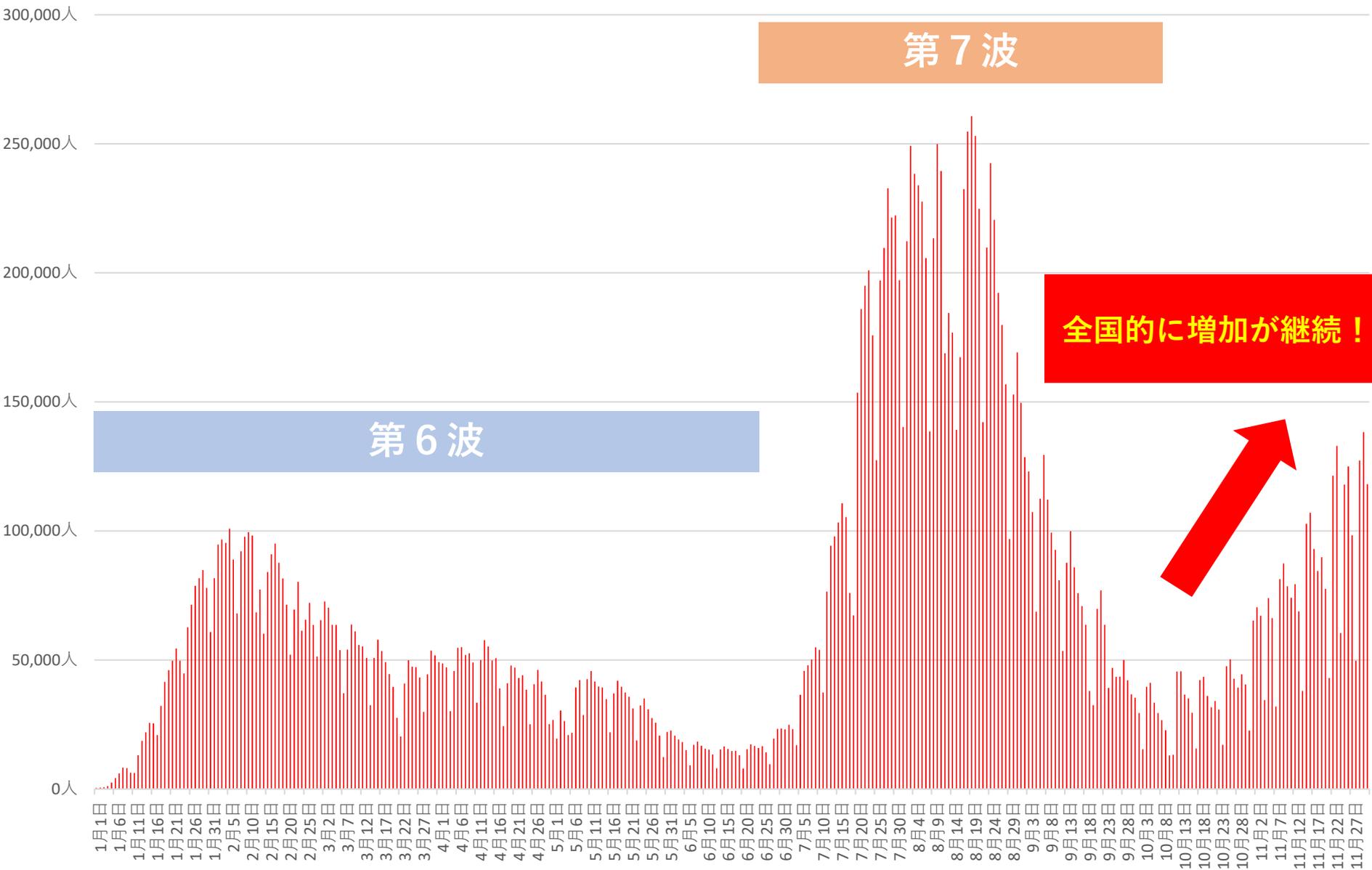


令和4年12月2日

知事会見

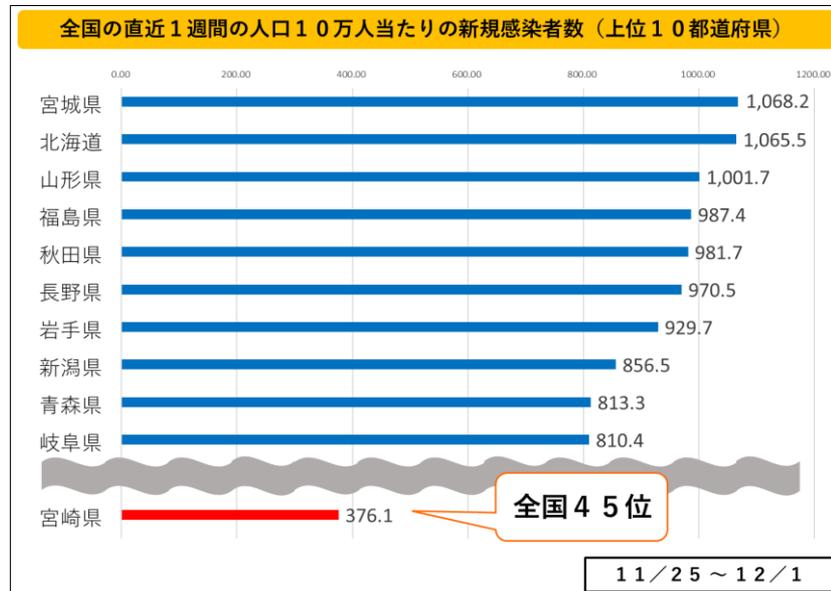
全国の感染状況（1日当たりの新規感染者数）



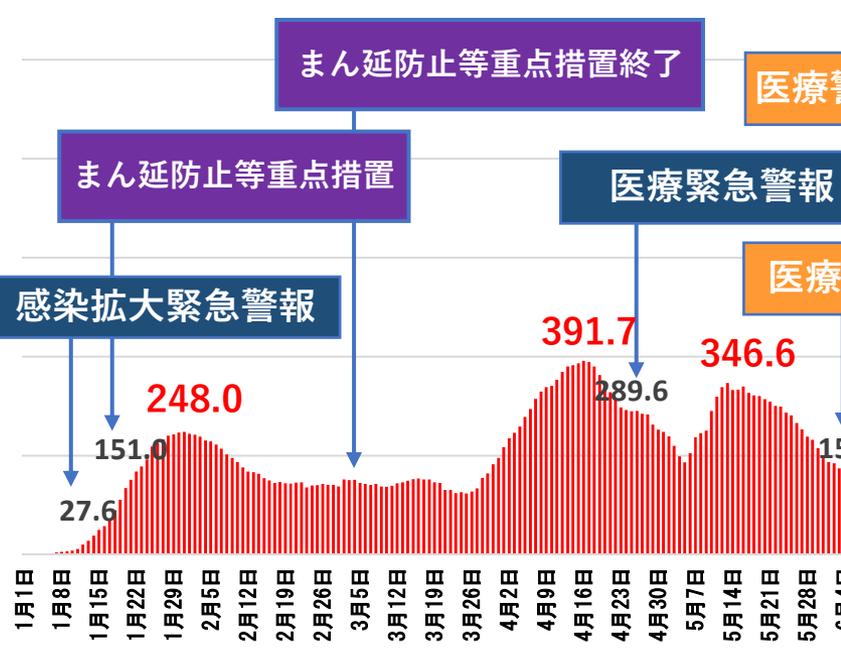
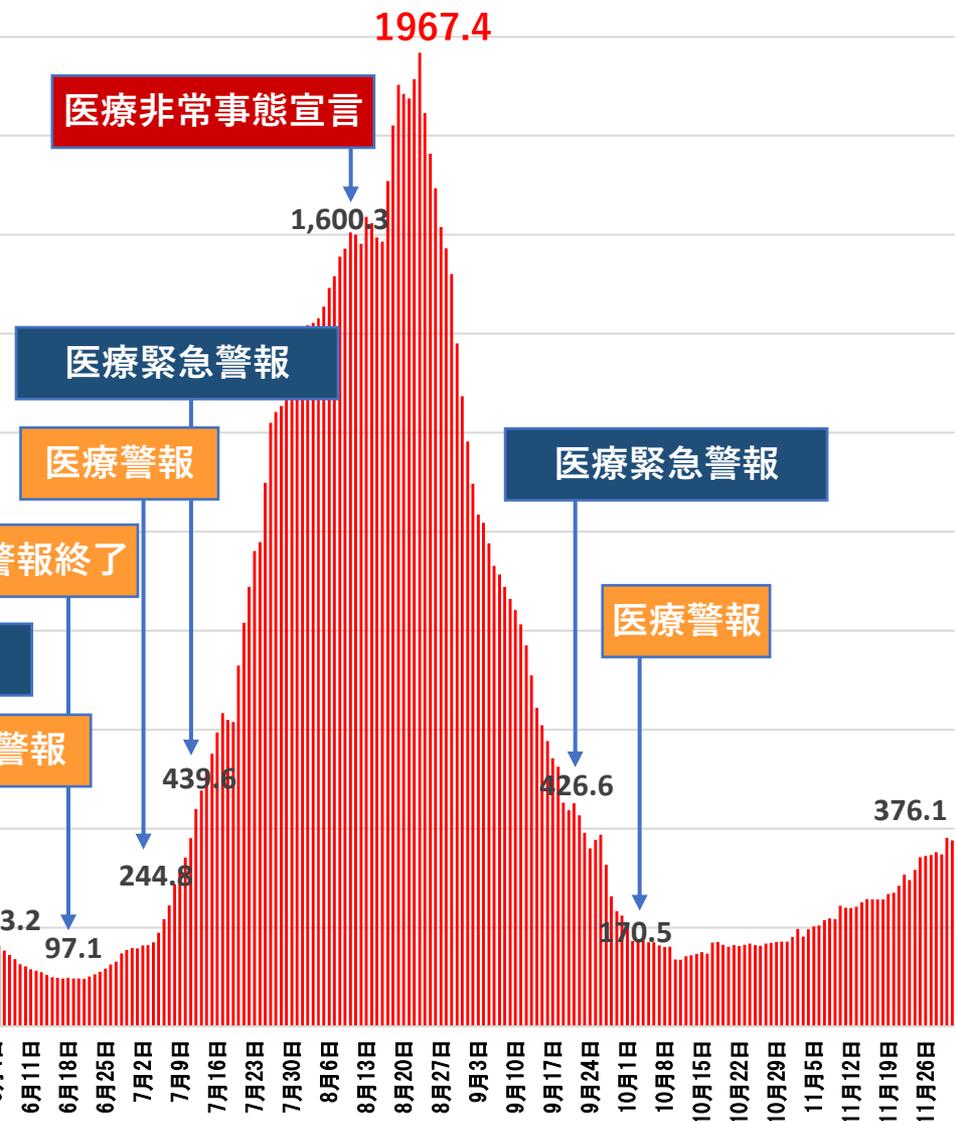
1日当たりの新規感染者数（前週との比較）

10～11月 <small>※前週との比較</small>								2022（令和4年）
日	月	火	水	木	金	土	1週間合計	
16 84人 -35 (0.7倍)	17 368人 +234 (2.7倍)	18 329人 +17 (1.1倍)	19 253人 -62 (0.8倍)	20 222人 -38 (0.9倍)	21 289人 +33 (1.1倍)	22 187人 -21 (0.9倍)	1,732人 +128 (1.1倍)	
23 113人 +29 (1.3倍)	24 396人 +28 (1.1倍)	25 292人 -37 (0.9倍)	26 241人 -12 (1.0倍)	27 269人 +47 (1.2倍)	28 303人 +14 (1.0倍)	29 207人 +20 (1.1倍)	1,821人 +89 (1.1倍)	
30 118人 +5 (1.0倍)	31 398人 +2 (1.0倍)	1 392人 +100 (1.3倍)	2 411人 +170 (1.7倍)	3 104人 -165 (0.4倍)	4 461人 +158 (1.5倍)	5 270人 +63 (1.3倍)	2,154人 +333 (1.2倍)	
6 142人 +24 (1.2倍)	7 508人 +110 (1.3倍)	8 428人 +36 (1.1倍)	9 402人 -9 (1.0倍)	10 387人 +283 (3.7倍)	11 422人 -39 (0.9倍)	12 263人 -7 (1.0倍)	2,552人 +398 (1.2倍)	
13 169人 +27 (1.2倍)	14 605人 +97 (1.2倍)	15 494人 +66 (1.2倍)	16 398人 -4 (1.0倍)	17 383人 -4 (1.0倍)	18 425人 +3 (1.0倍)	19 377人 +114 (1.4倍)	2,851人 +299 (1.1倍)	
20 199人 +30 (1.2倍)	21 750人 +145 (1.2倍)	22 738人 +244 (1.5倍)	23 279人 -119 (0.7倍)	24 603人 +220 (1.6倍)	25 695人 +270 (1.6倍)	26 404人 +27 (1.1倍)	3,668人 +817 (1.3倍)	
27 223人 +24 (1.1倍)	28 813人 +63 (1.1倍)	29 691人 -47 (0.9倍)	30 631人 +352 (2.3倍)	1 549人 -54 (0.9倍)	2	3	2,907人	

直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数

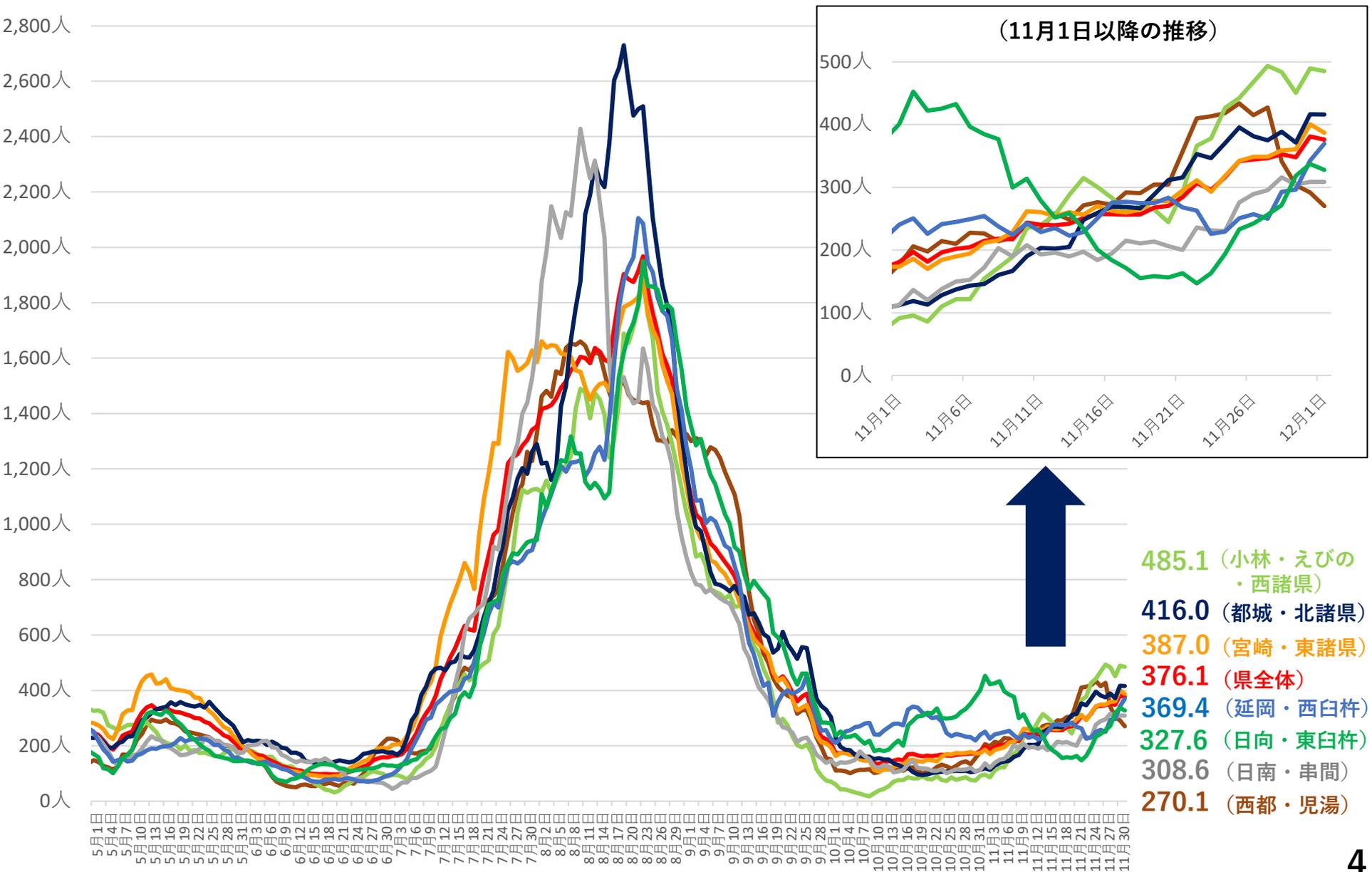


2,000人
1,800人
1,600人
1,400人
1,200人

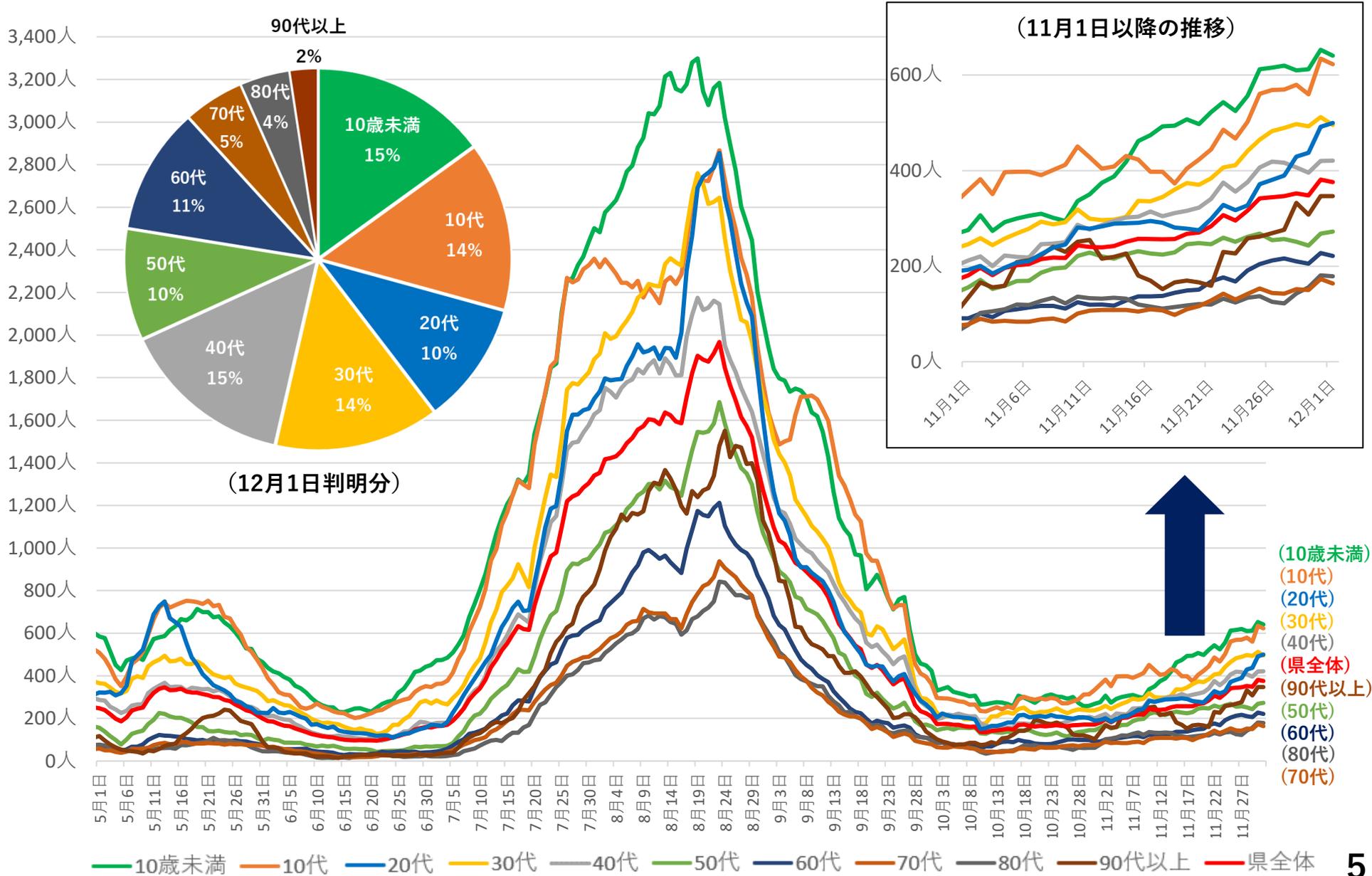


各圏域別の感染状況

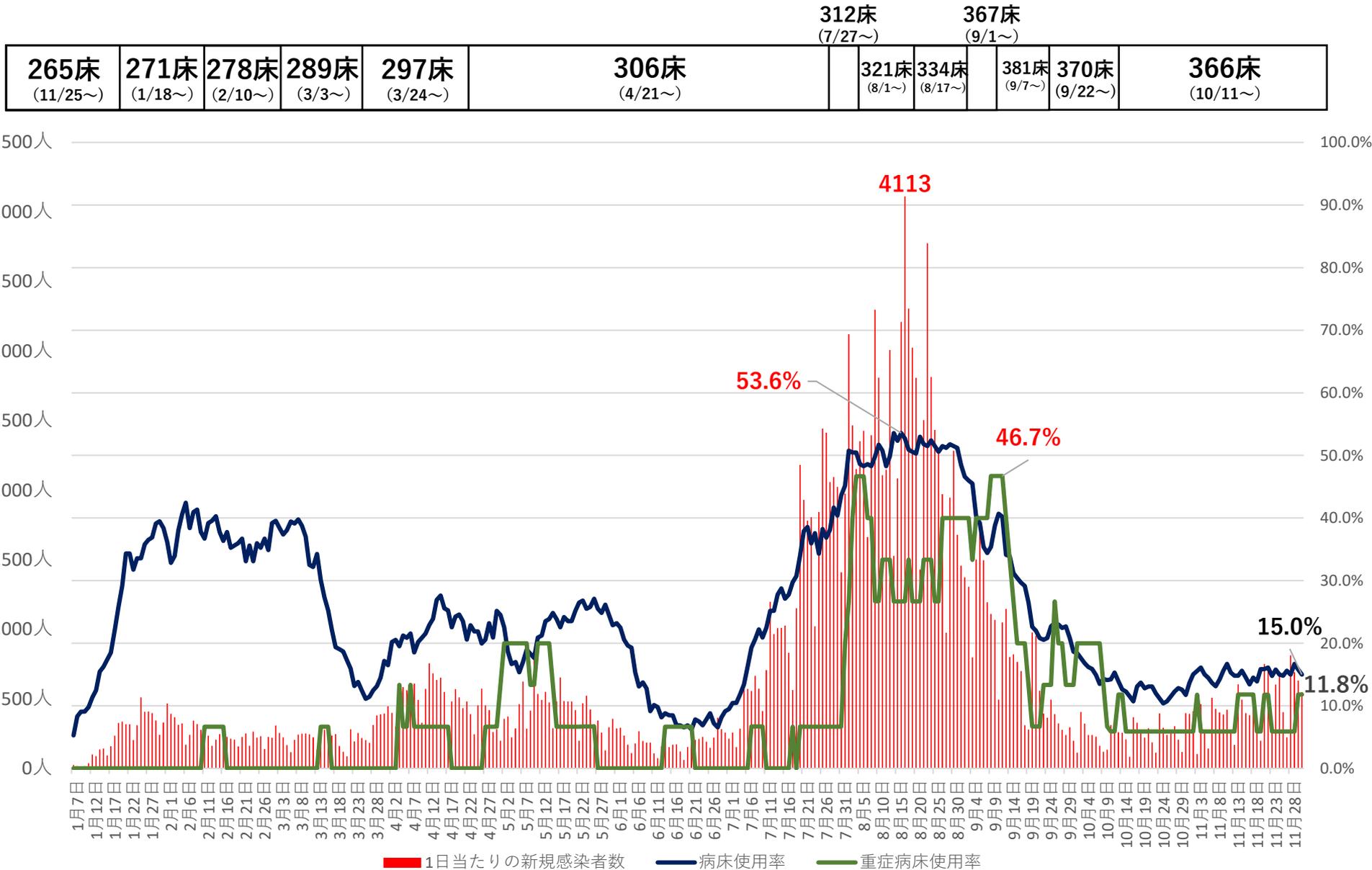
(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数)



各年代別の感染状況 (直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数)



新規感染者数と病床使用率の推移



※病床使用率、重症病床使用率は、新型コロナウイルスの確保病床における入院患者をベースに算定

今後の方針について

基本的な考え方

年末年始に向けて、感染の再拡大に加え、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念される中、第7波までの知見を踏まえ、同時流行にも対応可能な外来等の保健医療体制を構築するとともに、オミクロン株対応ワクチン等の接種の加速化を図る。

その上で、ウイルスの病原性の変化や爆発的な感染拡大により、医療機能が不全に至る恐れが無い限りは、強い行動要請は行わず、社会経済活動を維持しながら、一定の感染を受け止め、医療のひっ迫を防いでいく。（ただし、感染者数が膨大な数になり、せい弱な本県医療が機能不全に陥る恐れが生じる場合は、行動制限を含む感染拡大防止措置の実施など、状況に応じた対応を行う。）

①検査体制の拡大

②保健医療体制の強化

③オミクロン株対応ワクチン等の接種の加速化

本県の同時流行下における患者数等の想定

■国の通知に基づき、次のとおり推計

【1日当たりの推計患者数（ピーク時）】

新型コロナウイルス感染症患者数	3,746人	※第7波の沖縄県の感染状況から算定
季節性インフルエンザ患者数	4,770人	※コロナ流行前の過去5年間における本県のピーク時の感染状況から算定
患者数合計	8,516人	
陽性者登録センターでの登録患者数	926人	※コロナ患者のうち約25%は、陽性者登録センターの利用を想定
外来診療による推計患者数	7,590人	

第7波ピークの
約1.2倍

※第7波ピーク時の1週間の
1日平均患者数：2,994人

■アンケート結果に基づき、次のとおり推計

【1日当たりの外来診療対応可能人数（ピーク時）】

外来診療対応可能人数（平日）	13,654人	※医療機関への調査結果をもとに算定 (879医療機関のうち537医療機関から回答)
----------------	---------	--

検査体制の拡大

(1) 高齢者施設等における集中的検査の実施

- これまでの高齢者施設や障がい児・者施設に加え、新たに医療機関や学校等を対象に、抗原検査キットを配布し、職員の集中的検査を実施

【実施期間】 12月5日（月）～2月26日（日）

【実施回数】 週に2回程度

【配布個数】 約190万個

(2) 無料検査体制の確保

- 感染に不安のある県民向けの無料検査の継続

医療機関	薬局	その他の検査所	合計
27	48	13	88

(3) 新たな変異株の発生動向の監視

- 衛生環境研究所におけるゲノム解析の実施

保健医療体制の強化①（診療・検査医療機関の強化）

（1）診療・検査医療機関（発熱外来）の拡充

- ・ 第7波時点と比較して新たに**29医療機関**確保

第7波（7月時点）	現在
417医療機関	446医療機関

（2）診療・検査医療機関（発熱外来）の診療時間の拡大

- ・ 11月以降、新たに**86医療機関**で診療時間を拡大

（3）年末年始期間中の発熱外来体制の拡充

- ・ 年末年始に発熱外来を行う医療機関・薬局に対する支援を新たに創設

（１）陽性者登録センター等の強化

- ・ 自己検査による登録可能人数の拡充
（500人/日→900人強/日）
- ・ 外来医療ひっ迫時における検査キット直接配布の再開
- ・ 自宅療養者の症状悪化時の相談体制の強化
（フォローアップセンターに医師を新たに配置）



宮崎港での直接配布

（２）重症化リスク等に応じた外来受診・療養への協力の呼びかけ

- ・ ハイリスクの方や小学生以下の子どもには、体調異変時の早期の外来受診を促進
- ・ ハイリスクの方以外については、抗原検査キットによる自己検査及び陽性者登録センターの活用を促進
- ・ 外来受診については、平日・日中の受診を呼びかけ

（1）入院受入医療機関の拡充

- ・ 第7波時点と比較して新たに**8医療機関**確保

【圏域ごとの入院受入医療機関数】

圏域	宮崎 東諸県	都城 北諸県	延岡 西臼杵	西諸	西都 児湯	日向 入郷	日南 串間	計
第7波 (7月時点)	10	7	7	5	4	4	3	40
現在	14	7	8	7	4	4	4	48

※病床数（現在366床）については、感染状況や通常医療とのバランス等を踏まえ、適切に調整

（2）高齢者施設等への往診体制の確保

- ・ 高齢者施設等に往診を行う医療機関への支援

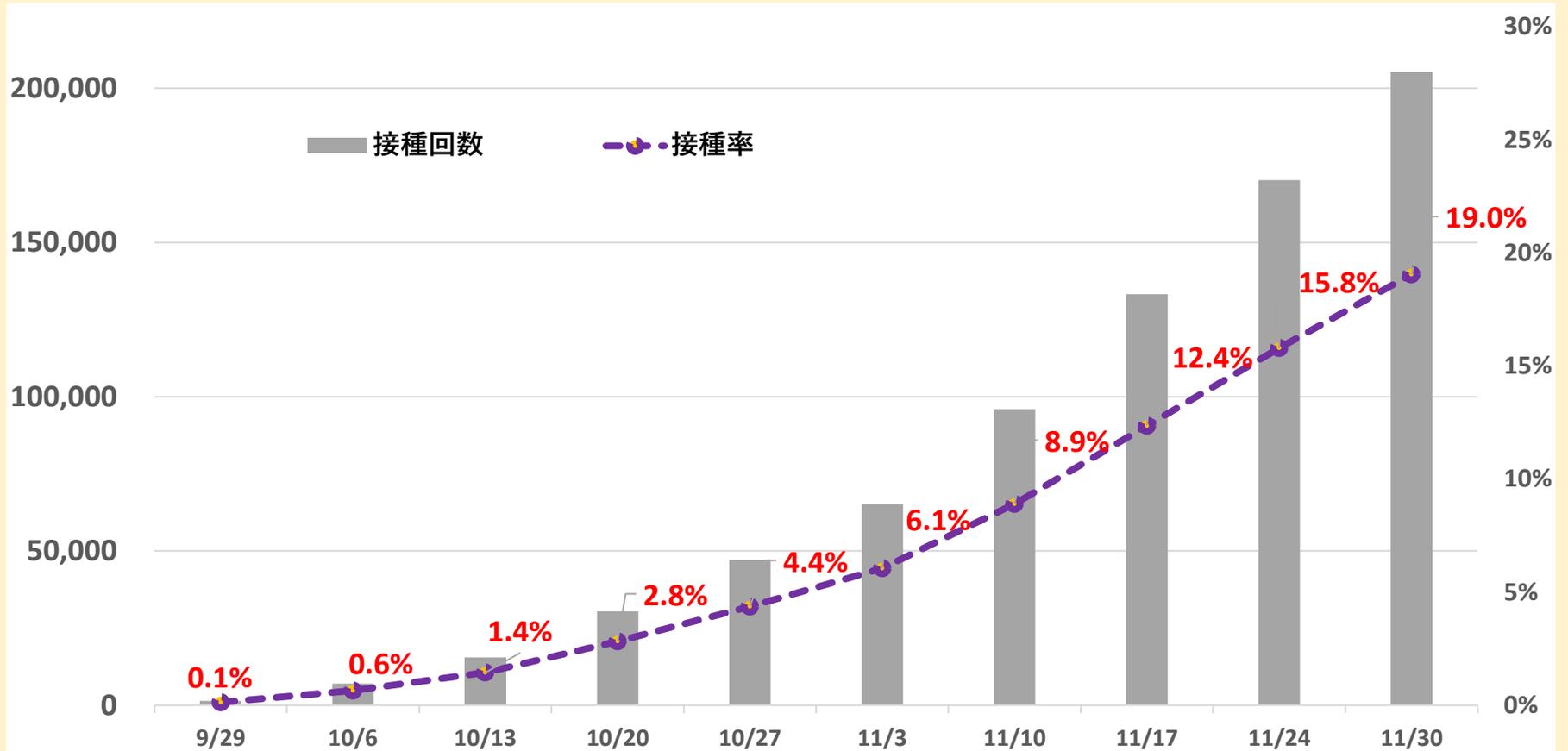
オミクロン株対応ワクチン等の接種の加速化

○接種実績（令和4年11月30日現在）

・オミクロン株対応（全人口ベース）

接種率

19.0%



小児（5-11歳）ワクチン接種

○接種実績（令和4年11月30日現在）

1回目	25.9%	2回目	24.7%	3回目	6.3%
-----	-------	-----	-------	-----	------

○ワクチンの効果等

- ・オミクロン株にも**高い入院予防効果を保持**
- ・**副反応は大人と比べ軽い傾向**

3回目接種後の
オミクロン株に対する中和抗体価
2回目と比べ**約22倍！**

乳幼児（6か月-4歳）ワクチン接種

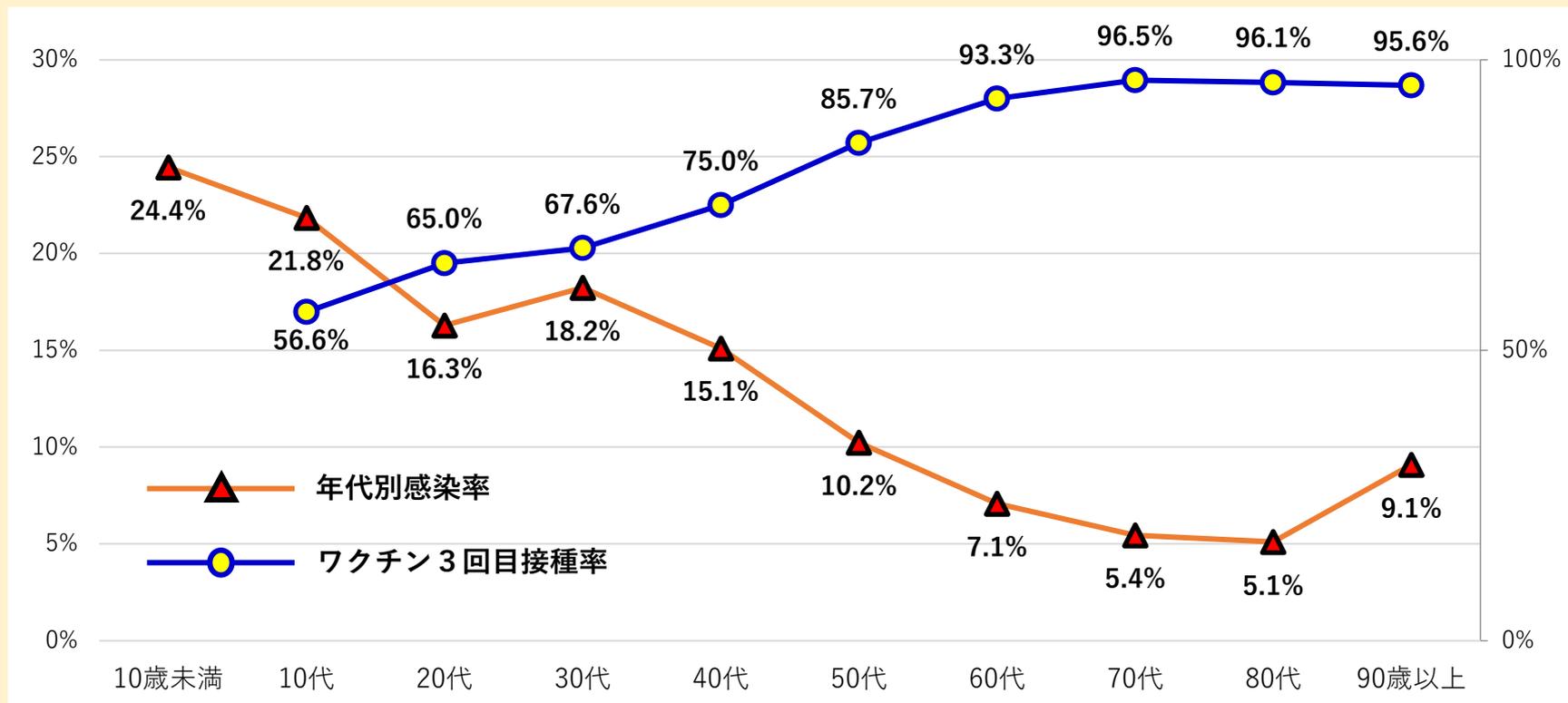
（10月下旬頃から開始）

○ワクチンの効果

オミクロン株にも**高い発症予防効果**

オミクロン株対応ワクチン等の接種の加速化

○第7波における年代別の感染率とワクチン3回目接種率（令和4年10月4日時点）



感染や重症化を予防し、医療のひっ迫を生じさせないためには、

オミクロン株対応ワクチンの年内接種が極めて重要

■オミクロン株対応ワクチンの接種促進

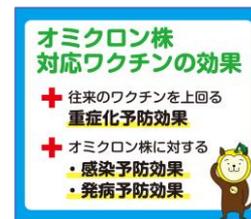
【大規模集団接種の実施】

- ・ 設置期間の延長（12月23日まで）
- ・ 金曜夜間・土曜の実施
- ・ 予約なし接種の実施



【広報の強化】

- ・ SNS等を活用した情報の提供
- ・ 市町村に対する集団接種や夜間・休日接種の働きかけ
- ・ イベント等でのチラシ配布



■小児・乳幼児のワクチン接種促進

【広報の強化】

- ・ 学校や保育所等を通じた保護者に対するワクチンの効果や副反応等に関する情報の提供
- ・ 新聞等による情報の提供

「みやざきモデル」のリニューアルについて

- これまで会食の場における感染防止対策の啓発標語として、「みやざきモデル」を提唱
- 今回、コロナを巡る状況の変化を踏まえ、社会生活全般における感染防止対策を啓発するため、リニューアル

コロナと共に生きる社会の生活様式

み

みつつの
密を避けて



や

やめよう、感染リスクの高まる
大声、大人数、長時間



も

もしもに備え、
薬・食料の準備



ざ

ざつだん、おしゃべりは
マスク着用



で

出かけた先でも
対策の徹底



き

きがねなく、休めるルール、
雰囲気づくり



ル

ルールを守ってイベントを
楽しみましょう



New! みやざき
モデル

県民の皆さまへのお願い

～「第8波」の感染拡大を防ぐため～

日ごろ
から

基本的な 感染防止対策の徹底を！

●外出・移動の場面

家族など、いつも一緒にいる身近な人以外と会う際は、必ず不織布マスクを適切に着用してください。少しでも体調に異変がある場合は、出勤や登校、外出・移動は控えてください。

●会食の場面

会食の際は、感染防止対策の認証を受けた「ひなた飲食店認証店」を利用し、感染リスクの高まるような大人数・長時間は控えてください。（自宅等での会食においても注意！）

●マスク・手洗い・換気の徹底

●解熱鎮痛薬や検査キット、食料等の備蓄

発熱などの体調不良時に備え、解熱鎮痛薬や抗原検査キット、1週間程度の食料を備蓄しましょう。

体調に異変
がある場合

重症化リスク等に応じた 医療機関の受診・療養を！

●ハイリスクの方など

65歳以上の方や基礎疾患がある方、お子さんや妊娠している方は、すぐに身近な**医療機関を受診**してください。（できる限り、**平日・日中の受診**をお願いします。）
※無症状で感染に不安がある方は、無料検査を受検してください

宮崎県新型コロナウイルス感染症受診・相談センター ☎0985-78-5670（24時間対応）
宮崎県検査相談コールセンター ☎0985-68-1001（受付時間9時～17時）土日祝日含む

●ハイリスクの方以外

症状が軽いなど、医療機関を受診せず、自宅で速やかに療養を開始したい方は、**抗原検査キットで自己検査**を行い、陽性であった場合は、陽性者登録センターに連絡し、自宅等で療養を行ってください。
（対象者）65歳未満の方、重症化リスクを有しない方、妊娠していない方

宮崎県陽性者登録センター ☎0570-089-050（受付時間9時～18時）

年内に

オミクロン株対応ワクチンの接種を！

接種可能な間隔が短縮！

5か月 → 3か月

●接種対象者

3～5回目の接種券をお持ちの満12歳以上の方で、前回の接種から**3か月以上**経過している方

県の新型コロナワクチン集団接種予約受付中！

期間 12月23日（金）までの毎週金曜日・土曜日

場所 県庁職員健康プラザ

時間 金曜日：18時～21時 土曜日：9時～16時

※電話予約は混み合いますので、可能な限りWEB予約をご利用ください
※予約の際はお手元に接種券をご準備ください

予約は専用
サイトから



○パソコン・スマートフォンをお持ちでない方

予約専用番号：0985-51-0567
(受付時間 9時～17時 土日祝日を除く)

同時流行
に備え

インフルエンザワクチンも 早めの接種を！

今冬は、**新型コロナとインフルエンザの同時流行が懸念**されます

ワクチンには、**重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果**が期待されますので、接種の積極的な検討をお願いします

- ※インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同日に接種することが可能です
- ※インフルエンザワクチンの接種にあたっては、**あらかじめ医療機関にお電話等で御確認いただき、予約**をお願いします

県内も「第8波」へ

**年末年始に向け、
一人ひとりが感染拡大に強い警戒を！**